

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	学童クラブ施設整備事業			会計	款	項	目	大	小
				01	03	02	06	03	51
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	教育総務課				
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり		主管課長	根本 政廣				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校就学児童	意図	放課後に適切な遊び及び生活の場として学童クラブ施設を整備し、児童の健全な育成を図る。
事業内容	学童保育の需要に対応した学童クラブ施設を整備する。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和51年度に江戸川台に「子どもルーム」を設置して以来、平成20年度までに市内15小学校区すべてに学童クラブが整備された。その後、建物の老朽化による建替えや移転、入所児童の増加による増設、おおたかの森小学校開校に伴う学童クラブの設置等を行った。平成28年度は2小学校区に施設を整備、平成29年度は1小学校区で改修整備、平成30年度は、4小学校区で施設整備を行った。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	整備後の学童クラブ施設数	27	27	30	施設	↑↑↑
②	整備後の定員数	1,375	1,635	2,220	人	↑↑↑	
③	延べ利用人数	14,703	17,277	20,095	人	↑↑↑	
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	西初石（定員120名）、八木北（定員120名）、流山北（定員35名）、おおたかの森（定員400名）小学校区に新たな施設を整備。鱈ヶ崎（定員80名）、東（定員80名）小学校区に学童クラブを平成30年度から2か年で整備			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・市内16小学校区全てに学童クラブが設置されている。 ・学童クラブの利用者の増加に対応した施設の整備が求められている。			
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		207,212,850	68,841,444	672,800,273			
事業費(b)(円)		198,357,000	56,759,844	664,955,793			
うち一般財源		58,151,000	26,292,844	68,420,793			
職員給与費(c)(円)		8,855,850	12,081,600	7,844,480			
人役・職員(人)		1.29	1.80	1.19			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	児童数の増加を視野に入れ計画的に施設整備を進めていく。	③取組における課題(Check)	児童数と学童需要が増加している小学校区について、新たな施設整備や利用可能な学校教室の活用が課題となっている。
②H30に実施した取組(Do)	各小学校区:西初石（定員120名）八木北（定員120名）、流山北（定員35名）、おおたかの森（定員400名）を整備。鱈ヶ崎小学校区、東小学校区に新規施設を2か年で整備。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	児童数と需要の増加に対応して計画的に施設整備を進めるとともに、学校教室を積極的に活用する。